

【第2期教育振興基本計画】

たくましくしなやかな子どもたち

- ・確かな学力、豊かな心・感性、健やかな体
- ・自ら考え、行動できる。
- ・様々な視点で物事を見ることができ、他人の考えを受け入れ、協力し合いながら、問題解決ができる。
- ・社会性を備え、地域社会や世界で活躍する。



【学校教育目標】

活力にあふれた子ども

【目指す子ども像】

進んで学び、進んで考え、よりよい自分を創造する子ども

自己有用感を持ち、校内外のさまざまな場面で自分の力を発揮する子ども

時と場や相手のことを考えてコミュニケーションできる子ども



【教育課題】

- ・確かな学力の育成
- ・自己有用感と思いやりの心の育成
- ・郷土愛・地域へ貢献する態度の育成

【目指す学校像】

- ・子供が主役となる学校
- ・地域と積極的に交流する学校

【重点目標】

主体性と挑戦から生まれる感動の共有

- ・職員が子供の成長のために積極的に研鑽する学校

小中一貫教育の充実

環境と小中との交流を意識した幼児教育の推進

軸となる環境教育

学びの準備期

4・5制

9年

8年

7年

6年

5年

4年

3年

2年

1年

学びの充実・発展期

学びの基礎期

第4ステージ

第3ステージ

第2ステージ

第1ステージ

ミドルリーダー

9年間を見通した系統的な教科指導の充実による資質・能力の育成

主

主体性を育む

発想や思考のつながりを重視した学習活動の推進

- 自ら見つけ、意欲的に問い続ける学びの創造
- 主体的に「ひと、もの、こと」へのかかわりを求め、生活科や教科の学びを生かした総合的な学習の時間の推進
- 子供の発想や疑問を生かした授業の推進

子供の活躍が光る行事・教育活動の推進

- 自ら学校生活を創造する児童生徒会活動
- 自ら企画・運営し、主体性と挑戦する心を育む行事等の重点化

実践的な集団活動を通して自己実現を図る

- 子供一人一人の夢や希望を支援する生徒指導
- 認め合う集団づくりによる自己有用感の向上

「なりたい自分」を探求する心の育成

総合「ふるさと井川学習」を基盤とした特色ある学校づくり



合い言葉: 未来につながる自分づくり

学

びに向かう力を育む

「わかった・できた」感動を味わう授業の創造

- 体験を重視した発見学習・問題解決的な学習の充実
- 子供一人一人が輝きを実感できる支援と共感
- 「ひと、もの、こと」とのかかわりを大切に単元構想

他者との対話を通して自分の考えを深める授業の推進

- 異学年合同授業等での学び合いの推進
- 他校との交流学习、遠隔教育の実施【挑戦する心】

家庭学習の充実

- 授業内容の理解を自ら深める予習・復習
- 学習習慣の定着 (自主勉強の充実)

問題解決を支える適切なICTの活用

多様な交流活動を生かした「豊かな人間性、社会性」の育成



豊

かな心を育む

豊かな体験活動の実施

- 自然や環境を大切にする態度の育成
- 多様な「ひと・もの・こと」とかかわり、つながる力の育成

よりよく生きようとする意欲や態度の育成

- 自己を見つめ、多様性を受け入れる態度の育成
- 対話を通して自分の考えを深める道徳の推進

郷土愛を育む活動の充実

- 総合的な学習の時間、生活科の充実
- 自然・地域・施設・人材の教材化
- 地域の活動への積極的な参加

井川小中学校運営協議会「コミュニティ委員会」

【委員】

- ・保護者代表
- ・地域代表
- ・学識経験者
- ・学校職員

保護者・地域の皆さん

説明

意見

説明

承認

説明

意見

校長、職員

学校運営の基本方針

学校運営・教育活動